

第1回蒲郡市総合計画審議会 会議録

開催日時	令和2年7月27日（月）10時から正午まで																																																																																
開催場所	蒲郡市役所3階 303会議室																																																																																
出席者	<p>【蒲郡市総合計画審議会 委員】</p> <table border="0"> <tr> <td>蒲郡市教育委員会</td> <td>教育委員</td> <td>渡辺 充江</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市農業委員会</td> <td>会長</td> <td>坂部 哲雄</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市総代連合会</td> <td>副会長</td> <td>石川 良一</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市観光協会</td> <td>常務理事</td> <td>長谷川 恵一</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市漁業振興協議会</td> <td>会長</td> <td>小林 俊雄</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市小中学校PTA連絡協議会</td> <td>会長</td> <td>三浦 吉尊</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市保育園父母の会連絡協議会</td> <td></td> <td>伊藤 恵梨子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市社会福祉協議会</td> <td>会長</td> <td>鶴飼 秀好</td> </tr> <tr> <td>がまごおり市民まちづくりセンター</td> <td>代表</td> <td>金子 哲三</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市国際交流協会多文化共生部会</td> <td></td> <td>三浦 嘉子</td> </tr> <tr> <td>ボランティア連絡協議会</td> <td>副会長</td> <td>石川 たづ子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市文化協会</td> <td>副会長</td> <td>佐野 哲子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市スポーツ協会</td> <td>副会長</td> <td>吉見 千津子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市子ども会連絡協議会</td> <td>顧問</td> <td>小林 浩子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市</td> <td>副市長</td> <td>井澤 勝明</td> </tr> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>教授</td> <td>高野 雅夫</td> </tr> <tr> <td>愛知大学</td> <td>教授</td> <td>鄭 智允</td> </tr> <tr> <td>愛知工科大学</td> <td>准教授</td> <td>小林 直美</td> </tr> <tr> <td>(欠席)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒲郡商工会議所</td> <td>会頭</td> <td>小池 高弘</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市農業協同組合</td> <td>理事</td> <td>大村 純代</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table border="0"> <tr> <td>企画部</td> <td>部長</td> <td>飯島 伸幸</td> </tr> <tr> <td>企画部</td> <td>次長兼課長</td> <td>牧原 英治</td> </tr> <tr> <td>企画政策課</td> <td>係長</td> <td>板倉 一博</td> </tr> <tr> <td>企画政策課</td> <td>主事</td> <td>杉浦 太律</td> </tr> <tr> <td>企画政策課</td> <td>主事</td> <td>青木 佑紀</td> </tr> </table>			蒲郡市教育委員会	教育委員	渡辺 充江	蒲郡市農業委員会	会長	坂部 哲雄	蒲郡市総代連合会	副会長	石川 良一	蒲郡市観光協会	常務理事	長谷川 恵一	蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林 俊雄	蒲郡市小中学校PTA連絡協議会	会長	三浦 吉尊	蒲郡市保育園父母の会連絡協議会		伊藤 恵梨子	蒲郡市社会福祉協議会	会長	鶴飼 秀好	がまごおり市民まちづくりセンター	代表	金子 哲三	蒲郡市国際交流協会多文化共生部会		三浦 嘉子	ボランティア連絡協議会	副会長	石川 たづ子	蒲郡市文化協会	副会長	佐野 哲子	蒲郡市スポーツ協会	副会長	吉見 千津子	蒲郡市子ども会連絡協議会	顧問	小林 浩子	蒲郡市	副市長	井澤 勝明	名古屋大学	教授	高野 雅夫	愛知大学	教授	鄭 智允	愛知工科大学	准教授	小林 直美	(欠席)			蒲郡商工会議所	会頭	小池 高弘	蒲郡市農業協同組合	理事	大村 純代	企画部	部長	飯島 伸幸	企画部	次長兼課長	牧原 英治	企画政策課	係長	板倉 一博	企画政策課	主事	杉浦 太律	企画政策課	主事	青木 佑紀
蒲郡市教育委員会	教育委員	渡辺 充江																																																																															
蒲郡市農業委員会	会長	坂部 哲雄																																																																															
蒲郡市総代連合会	副会長	石川 良一																																																																															
蒲郡市観光協会	常務理事	長谷川 恵一																																																																															
蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林 俊雄																																																																															
蒲郡市小中学校PTA連絡協議会	会長	三浦 吉尊																																																																															
蒲郡市保育園父母の会連絡協議会		伊藤 恵梨子																																																																															
蒲郡市社会福祉協議会	会長	鶴飼 秀好																																																																															
がまごおり市民まちづくりセンター	代表	金子 哲三																																																																															
蒲郡市国際交流協会多文化共生部会		三浦 嘉子																																																																															
ボランティア連絡協議会	副会長	石川 たづ子																																																																															
蒲郡市文化協会	副会長	佐野 哲子																																																																															
蒲郡市スポーツ協会	副会長	吉見 千津子																																																																															
蒲郡市子ども会連絡協議会	顧問	小林 浩子																																																																															
蒲郡市	副市長	井澤 勝明																																																																															
名古屋大学	教授	高野 雅夫																																																																															
愛知大学	教授	鄭 智允																																																																															
愛知工科大学	准教授	小林 直美																																																																															
(欠席)																																																																																	
蒲郡商工会議所	会頭	小池 高弘																																																																															
蒲郡市農業協同組合	理事	大村 純代																																																																															
企画部	部長	飯島 伸幸																																																																															
企画部	次長兼課長	牧原 英治																																																																															
企画政策課	係長	板倉 一博																																																																															
企画政策課	主事	杉浦 太律																																																																															
企画政策課	主事	青木 佑紀																																																																															
議 題	<p>(1) 第五次蒲郡市総合計画策定スケジュールについて</p> <p>(2) 第四次蒲郡市総合計画の評価・検証について</p> <p>(3) 第五次蒲郡市総合計画策定に係るデータ分析及びアンケート、ワークショップ実施結果について</p>																																																																																
会議資料	資料1	蒲郡市総合計画審議会条例																																																																															
	資料2	蒲郡市総合計画審議会の傍聴に関する要領																																																																															
	資料3	蒲郡市総合計画概要																																																																															
	資料4	第五次蒲郡市総合計画策定スケジュール																																																																															
	資料5	第五次蒲郡市総合計画審議会スケジュール																																																																															
	資料6	第四次蒲郡市総合計画施策実績評価まとめ																																																																															

	<p>資料 7 蒲郡市基礎的概況</p> <p>資料 8 平成 3 0 年度蒲郡市市民意識調査 調査結果報告書</p> <p>資料 9 令和元年度蒲郡市中学生アンケート調査結果報告書</p> <p>資料 1 0 令和元年度蒲郡市高校生アンケート調査結果報告書</p> <p>資料 1 1 令和元年度蒲郡市のまちづくりを考える団体アンケート調査結果報告書</p> <p>資料 1 2 市民ワークショップ『がまごおり未来会議』結果報告書</p> <p>参考資料 第四次蒲郡市総合計画</p>
<p>会議内容</p>	<p>1 第五次蒲郡市総合計画策定スケジュールについて (事務局説明)</p> <p>【質疑応答】 意見なし</p> <p>2 第四次蒲郡市総合計画の評価・検証について (事務局説明)</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この評価は自己評価か、企画部での評価か。 (事務局) 各所属から、単位施策についてどのように実行しているのか、課題を出してもらって、企画政策課でまとめている。実施状況は担当課が評価している。 ・ほとんどB評価で可もなく不可もなくであるが、10年間の成果について紹介いただきたい。 ・市の事務方として総括しているが、総合計画は各担当からそれぞれが評価して、不足部分を次年度の予算に要求している。予算が伴うので、予算担当部局が、総合計画を見ながら予算をたてるとなると、財源の問題があり全てに予算がつかない。これまで、事業費が大きいことや短期的な効果が見込めないということで予算がつかなかった施策もあったが、ここ2、3年では景観、コンパクトシティなど総合計画で進んでいない部分については、財政の方へ積極的に予算を付けることを指導してきた。 <p>3 第五次蒲郡市総合計画策定に係るデータ分析及びアンケート、ワークショップ実施結果について (事務局説明)</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかに若い人に参画してもらうのが課題であり、今回のアンケートで若者を対象に実施したのは一歩踏み込んだことであり、より広い皆さんに関心を持っていただいた。より市民参加を進めないと、行政の担当では手が回らないということである。市民の意見が隠れた部分があった。できれば若い人の発言を次の若い人が見る機会をどうつくり込んでいくのが次の10年を考える上で重要になる。アンケート、

	<p>ヒアリングに参加した人が委員会、ワーキングに参加してもらおうと、書いてもらった意図も分かるので、今後検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代を巻き込む仕組みは重要になってくるので、子ども、お年寄りに対する取組みはまだ改善の余地がある。行政のみでは解決できないので、ぜひ、この部分について審議会においてまちづくりでどうしていくのか検討すべきである。重要度ワーストでは、国際化、外国人との交流、男女共同参画があり、ここを重点的に対処していく必要がある。さらに、会長が指摘した若者の定住意識や就職、どう若い人を巻き込むのかにも密接な関係がある。これを教育かボランティア活動で充実していくのかは、具体的に数値目標を掲げた方が良い。お子さんについては、基礎的な概況の中で、生活保護世帯が近隣市町村より高い、増加傾向がみられると記述されていた。これに対しては、子ども食堂とかたくさんの方の施策が示されているが、手厚いことが必要である。全国では6人に1人、7人に1人の子どもが貧困状態であり、子育てについて充実したいという意見があり、審議会の議論でも重要である。所得の向上ということでは、大きな企業誘致、ヘルスケア、有名ホテルの誘致が行われてきたが、生活保護と所得の向上は関係があり、高齢者の虐待、子どもへの虐待、DV、LGBTへの差別の問題と直結する。弱い分野に重点的に投資するという点では、市民をどう大切して、定住していただくかどう根幹になるので、若い人、お年寄り、マイノリティ、ハンディキャップを持った人に対する支援、所得の向上、教育との関連という課題と結び付くので、次の審議会でこれらの課題に対する検討を行いたい。 ・市民の重要度が低いワーストは1番が国際化・外国人との交流・共生、4番が男女共同参画、5番ボランティアということで、こういうことに市民はあまり関心がない、重要と思っていないということか。 (事務局) <p>5段階評価で重要度を把握したものでその通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画でも、地域へ地域へという話が出る。言葉としては美しいが、難しいことである。地域で何かやる時の担い手、ボランティア、介護、ヘルパーの確保、住民が高齢化をしており担い手になる方が減っているのが現実である。計画策定では行政と地域が一緒になってという話が多いが、総代、民生委員もなり手がなくて困っているのに地域へと言われる。言葉としては良いが現実にできるかとなると難しいのが現状である。早急に担い手不足を解消、増やす、そのための支援策について何か一緒に考えていただけるとありがたい。 ・ワークショップの結果でも民生委員が手一杯で、とてもできないという声もあり、担い手がない深刻な状況の中で大変というご指摘があった。 ・塩津地域で外国人に日本語を教えるボランティアを行っているが、コロナ禍で解雇されたという外国人が何人かいた。自動車関係の部品製造会社で解雇された人が多いが、女性で縫製関係などに勤めている人は案外仕事を続けている。解雇された人は、日本語をもっと勉強して
--	---

自分の生活を広げたい、高校に行きたい、いろんな職業スキルを身に付けたいと考えている。日本語を勉強して、介護士となるなど安定的な仕事に就きたいという熱心な人が勉強に来ている。コロナ以前よりも人数は少ないが、勉強に来る人は熱心に来る。できるだけサポートしたいので、ボランティアは10人でやっている。仕事に対しての相談はなかなかできないので、蒲郡市の中で外国人が失業した時に相談できる部門があるとよい。それには通訳として、英語、タガログ語、ブラジル人も多くのでポルトガル語、ペルー人向けのスペイン語が分かる人が必要である。

- ・蒲郡市は外国人が多いので、大変な状況になっていると思う。
- ・福祉の関係ではプライバシーの問題があり、地区の総代をやった際に要支援者の支援を手伝うこととなったが、民生委員と総代のみ名簿を知っていても不十分である。地域では、たまたま回覧をしていた人は知っているが、アパートの人は分からない。たくさんの要支援者がいるのに、個人情報公開できるかどうか知りたい。ボランティアもいるお願いすれば支援をしてもらえるが、個人情報と福祉の関係はもう少し問題提起したい。
- ・新型コロナの影響が出ていないが、今年度は全く変わってくると思う。男女共同参画はワースト2、日本語教室の支援も手伝ったことはあるが、コロナ禍の影響も踏まえて計画を策定してほしい。
- ・ボランティア連協は32年目になるが、はじめは20団体であったが、11になった。障がい者、高齢者向けのボランティア団体が多いが、震災以来ボランティアに対する考え方が変わり、広い意味でのボランティアが必要と言われる。地域を巻き込むということで、中学生、高校生に広げて、地域と学ぶ機会の取組みをぜひ進めてほしい。
- ・スケジュールで議会との関わりについて、審議会で審議したことを議会に説明するのか。

(事務局)

個別計画、地域福祉計画も進んでいるということで、総合計画も様々な意見を取り上げて策定していくが最上位計画として総合計画は市としての全体の方向を示したい。コロナの影響については、大きな影響があると捉えており、総合計画においても踏まえていく。本日は今までの調査の報告であるが、今後計画内容については、コロナの影響、新たな感染症への影響を踏まえた案を出してきたい。議会との関係では、定期的に議員の意見もいただき、総合計画を策定したい。議決は3月であるが、それ以外の機会でも意見をいただき、審議会にも示して議論いただきたい。